別表第２（第５条、第９条及び第２６条の３関係）　級別標準職務表及び昇格基準（キャリアパス）

職務階層	対応役職	職務内容	求められる能力・役割	キャリアパス対応生涯研修課程等研修	目標とする資格	給料及び手当			
						現在給	昇格級	昇格基準	手当加算
管理・監督職	施設長 管理者	①組織の理念・方針の明示・浸透	①運営統括責任者として、組織の理念・方針を明示し、地域社会に理解・浸透させるための取組みを行う。			４級	５級	①施設長及び管理者として在職５年以上	管理職手当
		②組織の理念・方針に基づいた経営の改善	②組織の理念を達成するための人事・財務・労務の方針を定め、経営を改善する。						
		③組織の活性化に向けた職場環境の整備	③必要な権限移譲を行い、部下の自主性を尊重して自律的な職場環境を整え、適切な職員配置を行う。						
		④人材育成体制の整備	④組織のキャリアパスを職員に周知し、それに基づく人材育成体制のを構築する。						
		⑤地域の社会資源との連携体制の整備	⑤行政、地域との連携体制を整備し、地域間連携の基礎を構築することにより、地域福祉の推進、向上に貢献する。						
指導職	支援専門員	①組織の理念・方針に沿ったサービスの管理・調整	①組織、職場の理念、運営方針、目標に沿ったサービスの提供と管理を行う。	◆管理職員キャリアアップ研修課程	社会福祉士 介護福祉士 精神保健福祉士	４級			役職手当
		②組織の理念・方針を達成するための改善策提案	②組織の理念・方針を達成するため、人事・財務・労務の現状を分析し、改善策を提案する。						
		③組織の活性化に向けた職場環境の調整	③職員の意思を確認し、業務内容を検証することにより、管理職に対し働きやすい職場環境に向けた助言・提案を行う。						
		④キャリアパスの構築、人材育成制度の運用	④キャリアパスを構築し、それに基づく職員の研修を実施する。						
		⑤地域の社会資源との連携の推進	⑤地域ニーズを理解し、他部門・他団体との協力・連携を図り、地域貢献、交流事業の基盤整備を行う。						
	事務長 サービス管理責任者 主任	①組織の理念・方針に沿った部門・チームのサービスの管理・調整	①組織の理念・方針に沿って、部門・チームのリーダーとして職員と信頼関係を築き、サービスを管理・調整する。	◆チームリーダーキャリアアップ研修課程 ◆山形県サービス管理責任者研修		３級	４級	①現在の給料月額が３級２８号以上 ②主任職で年齢５３歳以上の者	
		②部門・チームの目標設定と課題解決	②部門・チームの業務を振り返り、目標を設定し、職員とともに課題解決を行う。						
		③部門・チームにおける人間関係の調整	③部門・チームのリーダーとして職員と信頼関係を構築し、部門・チーム内の人間関係を調整し、目標に向かって部門・チームが機能するように指導する。						
		④部門・チームのリーダーとしての助言・指導	④部門・チームのリーダーとして職員の成長を促す指導を行い、職場のモデルとしての役割を担う。						
		⑤地域の社会資源との連携・調整	⑤地域の社会資源の育成等を含め、利用者中心の支援ができるよう、地域の社会資源との連携・調整を行う。						
一般職（中堅職員）	看護師 栄養士 支援員 事務員	①組織の理念・方針の理解	①組織の理念・方針に基づき自立して担当業務を行う。、	◆中堅職員キャリアアップ研修課程 ◆障害者施設職員研修		３級			資格加算
		②担当業務における問題点の明確化	②担当業務における課題を発見し、課題の解決に努める。						
		③部門・チームの人間関係の構築	③部門・チームにおける自分の役割を理解し、人間関係を構築する。			２級	３級	①現在の給料月額が２級７号以上 ②２級在級　６年以上	
		④専門知識・技術の活用	④研修に積極的に参加し、専門知識・技術を業務に活用する。			１級	２級	①現在の給料月額が１級１１号以上 ②１級在級　３年以上	
		⑤地域の社会資源の理解	⑤地域との交流・協力を通じ、地域資源の活用方法を理解し、活用する。						
一般職（新任）採用２年目まで		①組織の理念・方針の把握	①組織の理念・方針及び目標を把握する。	◆初任者キャリアアップ研修課程 ◆新任職員研修	社会福祉主事任用資格	１級			
		②担当業務の振り返り	②日常業務を振り返る習慣を身に着け、課題を見つけるための視点を獲得する。						
		③部門・チームの一員としての自覚	③職場のルールを守り、上司からの指示を受け、報告・連絡・相談ができる。						
		④専門知識・技術の獲得	④業務遂行に必要な研修に参加し、専門知識・技術が獲得できるよう努力する。						
		⑤各職種の理解と連携	⑤組織内の他部門・チームの業務や、組織の中でどのような連携が行われているのか把握する。						